

本社 さいたま市北区吉野町2-282-13
編集局 TEL 048179519161
FAX 048165319040

✉ dokusya@saitama-np.co.jp

コロナも退散

節分で「豆」まき

見沼区の高齢者施設

さいたま市見沼区の特別養護老人ホーム見沼さくらの杜で3日、節分の豆まきが行われた。今年は新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小して実施。入居者や職員らは邪気を払うとともに、新型コロナウイルス感染症の早期退散も祈った。

豆まきは毎年恒例のイベントで、入居者約140人が参加した。今年はコロナ対策で入居者を20人前後に分け、各部屋で複数回に分けて行った。

豆まきは入居者の安全を考え、豆でなくゴムボールを使用。職員ふんする鬼5体はマスク姿で「疫病退散」のプラカードを持って準備万全。手作りの台車に乗り、太鼓を鳴らしながら「鬼が来たぞ」と各部屋へ入ると、入居者らは驚いて感激した様子。金棒を振り回す鬼たちを前に、入居者は笑いながら必死にゴムボールを投げている。

職員が変装した鬼に向かって必死にボールを投げる入居者ら。3日午後、さいたま市見沼区



た。

参加した90代女性は「とても楽しかった」と家族の健康を祈念した様子。この日の昼食では恵方巻が振る舞われ、70代女性は「とてもおいしかった。夢中になって鬼にボールを投げ付けた」と大満足の笑顔を見せた。

同施設は入居者にそれぞれの季節を感じてもらおうと、クリスマスや花見などのイベントを大切にしている。今回の豆まきもコロナ禍で不安な面があったが、楽しみにしている入居者も多く、感染

対策を徹底しながら開催した。

籠島竜太施設長(44)は「入居者の皆さまも職員も、今年

しみの時間を確保していきたい」と話している。

1年を健康に過ごすことができたと思う。今後も感染対策を取りながら、入居者の楽